

「橋梁の維持管理 今何をなすべきか！」

～今後を見据えて、安心・安全な橋梁を維持するための方策を考える～

日本では高度成長期に整備された数多くの社会基盤の老齢化が進行しています。特に橋梁の損傷が顕在化し、大きな社会問題になりつつあり、橋梁の長寿命化対策が喫緊の課題となっています。

また、隣国である中国、韓国は、急速に高速道路が建設されており、橋梁の維持管理の面から見れば、今後、日本と同様の経過をたどるものと思われます。

さらに、今回の東北地方太平洋沖地震そのものによる橋梁への影響は、阪神大震災のような大きな損傷はなかったと考えられることから、過去の大震災の教訓から実施された対策や日頃の定期的な維持管理の重要性が再認識されます。

そこで、改めて橋梁の維持管理について、現状や課題、今後のあり方、その技術動向など、隣国を含め幅広く有識者のご意見・ご提言を頂くことといたします。

日時 平成 23 年 6 月 21 日(火) 10:00 ~ 17:15

プログラム

- 10:00~10:10 開会挨拶 財団法人首都高速道路技術センター 理事長 北川 久
10:10~11:10 基調講演 「橋梁の維持管理の現状と展望」
東京大学大学院 工学系研究科教授 藤野 陽三
- 11:10~11:55 橋梁の維持管理について
1. 「国土交通省における橋梁維持管理の現状と課題」
国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路研究部 道路構造物管理研究室長 玉越 隆史
(休憩 65 分)
- 13:00~13:45 2. 「鉄道における橋梁維持管理の現状と課題」
財団法人鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部長 舘山 勝
- 13:45~14:30 3. 「大韓民国における橋梁維持管理の現状と課題」
釜慶大学校教授 李 東郁
- 14:30~15:15 4. 「中華人民共和国における橋梁維持管理の現状と課題」
同済大学教授 孫 利民
(休憩 15 分)
- 15:30~16:15 5. 「首都高速道路における橋梁維持管理の現状と課題」
首都高速道路株式会社 保全・交通部長 平林 泰明
- 16:15~17:15 特別講演 「本質を考えたコンクリート橋の評価と展望」
横浜国立大学名誉教授 池田 尚治
※演題は変更になる場合があります。(敬称略)

会場

有楽町朝日ホール

東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 11 階

参加費

8,000 円 (テキスト代込み)



本講演会は、(社)土木学会の継続教育(CPD)プログラムとして認定されております。

申し込み方法

定員：600名(事前登録制)

- 申込書に必要事項を記入の上、参加費払込受領書の写し(コピー)を添付し、**申込み締切平成23年5月31日(火)**までに事務局宛にご郵送下さい。後日、参加券をお送り致します。申込書は下記の URL より入手して下さい。(定員になり次第締切ります)
- 参加費は、郵便局備付の払込取扱票にて下記郵便振替口座へ払い込み下さい。通信欄に「技術講演会」と参加者氏名、電話番号を必ずご記入下さい。払込手数料は申込者様がご負担願います。払い込み済の参加費は不参加の場合でも払い戻し致しません。なお、不参加の場合は後日テキストを送付致します。

口座番号：00150-1-463575 加入者名：技術講演会事務局

お問合せ

財団法人 首都高速道路技術センター 技術講演会事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目10番11号 虎ノ門PFビル 電話：03-3578-5750 FAX：03-3578-5760
URL：http://www.tecmex.or.jp/ E-mail：info@tecmex.or.jp